

平成30年度 第1回吉川区地域協議会次第

日時：平成30年4月26日（木）
午後6時30分
場所：吉川コミュニティプラザ 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 会長報告

(2) 委員報告

(3) 事務局報告

4 協議事項

(1) 吉川区地域活動支援事業について

(2) 自主的審議事項等について

① 各部会からの報告、協議提案等、部会の協議状況等について

② 自主的審議事項に関する協議について

③ 吉川区「出張」地域協議会 勝穂地区での意見等の分担について

5 総合事務所からの諸連絡について

6 その他

7 閉 会

平成30年度 地域活動支援事業提案書受付一覧

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地調査実施の有無	追加資料の有無	質問事項
						事業費	補助希望額				
吉川区	1	4月9日	竹直地区公共交通待合所を起点とする集落活性化事業	竹直町内会	-	533	527	(目的) 公共交通待合所を起点に、地域の人々が改めて町内を認識し、企画や打ち合わせ会議で世代を超えた人と人の交流、共同作業を通じて融和と連帯感を醸成する。 (期待する効果) 子供たちが企画から参加することでこの地域に対する愛情と認識を持ってもらい、各種団体個人が一緒になって作業をすることで連帯感が生まれ、今後の町内環境維持と美化につなげていく。 吉川区の入口である竹直で、上杉謙信ゆかりの地大乗寺、天林寺、顕法寺等を紹介する事により、区内に入っていく人たちに興味を持ってもらい、吉川区への交流人口を増やしていく一助となる。	(1人)		<ul style="list-style-type: none"> ・バスの待合所に掲示物とのことだが、具体的な明細元図面を示してほしい。 ・上杉謙信ゆかりの地を紹介とあるが、区内の文化財等を紹介する図面を掲示する計画か。 ・掲示物を見学するため、自動車の駐車場の確保が必要だが可能か。 ・事業の目的に公共交通待合所を起点にとあるが、なぜ、公共交通待合所を起点としているのか。現在の公共交通利用者数は、今後も利用者数の増加が望めないのではないか。 ・提案書を読んだが、何をしたいのか事業内容がよく見えない。 ・コンテナハウスの仕様が書かれていないが待合所近くに設置し、そこで打合せや会議を行うということか。打合せや会議を集落集会所で行えないのか。 ・待合室の内側にもPR看板を設置とあるが、どれほどの人が見てくれると考えるか。 ・バス停の利用人数は1日に何人か。それは主に学生か、老人か、社会人か。 ・バス停前の県道を通る車両台数は1日に何台くらいか。それは区民が大多数では。 ・「設置しました」で終わってしまい発展性が感じられないが、何か方策はあるのか。掲示物の差し替え以外で。 ・子供たちの参加は非常に評価したいが、小中学生だけではなく高校生の参加も考えては如何か。 ・コンテナハウスの外寸及び内寸を教えてください。 ・プリンターの花等はどのようにするのか。各団体が検討するとのことだが、分かったら教えてください。 ・意見(希望)であるが、コンテナハウスをできるだけ人の目に印象づけるように(目立つよう)なれば…看板も。 ・交通量の多い環境であるが故に、訪れる皆さんの安全・安心対策はお考えか。例: 駐車場確保、盗難対策、施設管理、自然災害対策等。→考慮対策等を教えてください。(町内会管理、定期巡回、生産組合委託等) ・展示、掲示物の管理運営体制はどのようにお考えか(町内会管理等) ◎今回は提案事業数も多く、また補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っている。全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回っても事業を行うか。
	2	4月12日	歴史と文化のまちづくり事業	歴史と文化のまちづくり研究会	-	1,037	930	<ul style="list-style-type: none"> ①よみがえる元禄元年のふるさと展 元禄9年頼城郡下美守郷村絵図を複製し展示公開することにより、地域の成り立ち、歴史等を継承する。 ①'写真・絵画展(①と同時開催) アマチュア写真家・画家が作品の発表の場、夢と生きがい伝える場、地域住民が写真・絵画を鑑賞する場とする。 ②よみがえる元禄9年村絵図冊子出版 村絵図を出版することで江戸時代の村落の学術研究に役立てる。 ③入河沢城址遊歩道の整備 入河沢城址遊歩道を整備し、地域住民の憩いの場、ウォーキングなどの運動の場として利用する。 ④語り継ぐ歴史シリーズの発行、歴史・民話伝承講座 戦前まで語り継がれてきたと思われる伝承・民話が、戦後になり途切れつつあり、失われようとしている。高齢者が子供の頃、特に戦前に聞いていた地域の伝承・民話を集め、記録することで次世代に継承していく。 	(5人)		<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、昨年度(平成29年度)の入河沢城址の継続事業と考えてよいのか。 ・元禄9年村絵図約39枚とあるが、39村集落名の明細は。 ・入河沢城址遊歩道の整備とあるが、寺沢の池から入河沢城址までの遊歩道を整備する距離はどの位か。 ・語り継ぐ歴史として発行100冊予定とあるが、伝承・民話の内容は入河沢城址のみか、それとも吉川区全集落の民話か。 ・絵図の写真複製は県立博物館に許可を取っていると思うが、問題はないのか。 ・語り継がれる民話や伝承の調査収集範囲は集落内のみか、それとも吉川区全域、上越市全域のいずれか。 ・作り上げられた村絵図・歴史本・民話集など、将来的に善徳寺にずっと展示または保管されるのか。それとも市の資料館などに保管を考えているのか。 ・自主財源が他の提案事業より少ないが、他に手立てはないか。 ・絵図のサンプル(写し・写真等で可)をご提示いただけるか。 ・「村絵図冊子」は、どの程度の内容物(頁数、色、画像数等の見込)になるのか。→見込頁数、配布先、頒布方法を教えてください。 ・入河沢城址への道は、「遊歩道」「ウォーキング」の場として期待できるとあるが、地形的見地を踏まえその理由を教えてください。 ・立地環境的に険しい状況にあり、自然災害も危惧される。訪問者に対する安全対策はどのようにお考えか。 ・「アマチュア写真家・画家が自己作品の発表の場」とあるが、具体的には、どのような方々が発表するのか。その方々の発表内容、規模、過去実績等を教えてください。 ・「歴史・民話伝承講座」は開催だけでなく、残す仕組みを構築し、確実に伝えることを望む。 ・継続事業での申請団体や毎回申請している団体では、補助金のみでの事業実現でなく、自己資金を用意する努力はされているのか。また、毎年申請ではなく、隔年とするなどの努力はできないのか。 ◎今回は提案事業数も多く、また補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っている。全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回っても事業を行うか。

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地調査実施の有無	追加資料の有無	質問事項
						事業費	補助希望額				
	3	4月16日	吉川中学校吹奏楽部 地域とのふれあい事業	吉川中学校後援会	-	1,030	1,000	吉川中学校吹奏楽部は、吹奏楽コンクールに参加するだけでなく、「越後よしかわやつたれ祭り」「越後よしかわ酒まつり」などの地域活動に積極的に参加してきた。生徒の演奏を楽しみにイベントに参加する人も多く、イベントによる地域活性化に大きく貢献していると思われる。しかし、使用している楽器は老朽化しており、修理できない状態になっている。そのため、生徒の素晴らしい演奏が今後も継続でき、地域貢献できるよう、楽器を購入したい。新しい楽器を使用することで、より質の高い演奏にもつながり、地域住民を楽しませることができると考えられる。 ＜購入する楽器＞ チューバ×1台 ユーフォonium×1台			◎吹奏楽部の現在(4月)の部員数は何人か。そのうち、1年生は何人か。また、その現在の担当楽器を教えてください。 ◎区内のイベント等で地域活性化に大きく貢献していることには感謝したい。生徒の素晴らしい、より質の高い演奏が今後も継続できることを希望する。 ・本件の申請は、従来、別ルートでの楽器購入、助成で行うべき案件ではないか。なぜ、地域活動支援事業に提案するのか。 ・事業の名称から考え活動内容を期待したが、楽器を買うのが主である様なので、少々残念に思った。 ・支援事業で学校教育の為に楽器を買うのは如何なものか。 ・「地域と積極的に関わり…」とあるが、義務教育中の中学生の部活にどれほど区民が手を出せるのか、問題はないのか。 ・楽器購入の財源確保は後援会だけでは厳しいとしても、PTAや部員保護者会などに相談や、各種イベントの主催者側に寄付を募るなど、他の方法は考えられないか。 ・吉川中学校後援会構成員が69人とあるが、会則第3条による会員数のことか。 ・継続して生徒活動支援として「地域活動支援事業」を活用するか。 ・吉川中学校後援会会計は吉川区住民の拠出金などで支えられている。収支決算書を提示いただけるか。 ・(所有する)楽器の種類はどのくらいか。また、通常に演奏できる楽器はどのくらいか。 ・過去に「地域活動支援事業」で取得した楽器の管理簿があれば提示いただきたい。 ・現在、部で保有している楽器の種類とその数及び状態を教えてください。 ・過去に「バリトンサクソ」を支援事業で購入しているが、現在も演奏者はいるか。 ・後援会として各クラブサークルに対し、人金物等どのような支援をされているか。 ・チューバ、ユーホの「修理不可能」な理由を教えてください。 ◎今回は提案事業数が多く、また補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っている。全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回っても事業を行うか。
	4	4月16日	まちづくり情報の発信推進事業(プリント作業効率の向上と区民及び地域団体等への利用促進を図る)	まちづくり吉川	-	1,099	1,000	まちづくり吉川は、区内の地域振興・地域活性化の拠点としての役割を果たすと同時に、区内各団体の活動サービスの提供などに取り組んでいる。特に力を入れているのが住民への情報提供であり、毎月1回「まちづくり吉川だより(総合事務所からのお知らせ版と併せ)を発行し、吉川区内の出来事等情報を各家庭に届けているが、現状はモノクロ印刷である。そのため、カラー印刷機器を設置し、鮮明な紙面にて情報提供することが大きな目的である。 ○実施内容 フルカラー印刷機を3年間のリースで導入し、4年目に残存価格で買取する計画。リース期間中は、一定量までのインク及びホットキス針が契約に含まれる。 ○実施方法 ・まちづくり吉川での使用の他、区内の7つの地域づくり会議で伝統行事継承等を共用できるように紙面での広報活動を構築するとともに、各団体へPRし、住民への利用促進を促す。 ・まちづくり吉川で使用料金を設定し、安価で利用できるように努める。 ①印刷する用紙のサイズに応じた価格を設定し、地域内各団体へ利用をPRする。 ②デモ機による利用方法等の説明会を開催する。			・事業の実施方法の中で、使用料金の設定をし、安価で利用できるように努める…と提案されているが、試算はされているのか。 ・理想科学工業㈱ホームページにORPHIS FM5231は載っていない。 ・残存価格の買い上げ額(3,568,320円)は既払いのリース料3,024千円+4年目買取価格50万と理解で良いか。 ・複数年度の提案であり、翌年度以降の採択を保証していないが良いか。リース終了後買取と最初から分割購入について当然検討したと思うがどうだったか。 ・理想科学工業㈱を選択した理由は何か。 ・吉川広報は他区の広報に比べ、印刷制度(綺麗さ)で見劣りを常に感じていた。中にはカラー印刷の区もある。 ・集落事業や分館事業を始め多方面で本カラー印刷機を大いに利用させて貰いたい。(勿論格安で) ・一口に言うも備品の購入で審査に悩むが、最大のアピールポイントは何か。「各種地域活動への更なる支援」か。 ・吉川区のコアは上越市吉川区総合事務所とまちづくり吉川が地域の双壁である。高齢化が進む中でも地域住民は多様で詳細な情報を求めている。まちづくり吉川の広報誌を毎回、楽しみにしているが、せっかくの写真が不鮮明で大変残念に思っていた。今後の紙面に期待したい。 ・区内の誰でも便利に使うことができるように配慮されることと思うが、利用者事務局の負担軽減として、プリペイドカードによる使用料支払いの仕様にできないか。 ・総合事務所にある製本機器を活用(修理・整備して)することはできないか。 ・紙の時代ではなくよりつつある現在、経費削減(データ量、通信費、利用方法、提供方法)を考慮し、紙による情報提供ではなく、デジタルによる情報提供を推進してはどうか。 ・カラー紙による全配布である必然性は、デジタル化によりなくなりつつあり、経費増につながらないか。 ・3年継続申請とあるが、この事業費は3年後までを保証したものではないので、それを見込んだ事業申請であれば、翌年度以降の事業費は自己負担の可能性はある。一次年度以降、支援事業費が得られなくなった場合は、リース経費をどのようにお考えか。 ・運営予算不足の中、活動費の値上げを行った組織が、経費増の計画には無理があるのではないか。 ・利用料によっては、地域の営業店舗に影響を及ぼす結果になる可能性はないか。 ◎今回は提案事業数が多く、また補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っている。全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回っても事業を行うか。
	5	4月16日	尾神岳サマーフェスティバル実施事業	吉川観光協会	-	1,128	970	吉川区の観光振興事業の一環として、「サマーフェスティバル」を観光拠点の一つである尾神岳で実施し、吉川区のPRと一層の誘客を図るもの。 若者に人気急上昇中の歌手「ラフベリー」のライブを中心に計画している。若者に人気の歌手を迎えることで、若者層の集客が図られることとなり、スカイスポーツへの関心を持ってもらうきっかけづくりにも着目しつつ、尾神岳パラグライダー練習場を会場に行う。 また、地元の「鼓舞衆」「百華踊乱よしかわ」「吉川おどり隊」等にも出演を依頼し、区内外の皆さんやお盆帰りの皆さんからもおいでいただき、盛大に実施したい。			・尾神岳見はらし荘より会場になるパラグライダー練習場までのマイクロバスによる送迎をお願いしたい。当日は、自動車で駐車場があることが優先するため。 ・状況によってはスカイピア遊園地から送迎も考えてほしい。 ・吉川を活力ある地に導いて頂ければ考える。 ◎今回は提案事業数が多く、また補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っている。全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回っても事業を行うか。

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地調査実施の有無	追加資料の有無	質問事項
						事業費	補助希望額				
	6	4月17日	吉川三大枝垂れ桜を維持管理事業	吉川三大枝垂れ桜を守る会	-	998	997	源地区の三大枝垂れ桜のうち村屋の桜はH28年に行われた樹木医の治療後、初めて開花した。治療の成果が出た。 一方、報恩寺の枝垂れ桜は、樹木医によれば衰弱しているものの治療を行えば大丈夫だという。三本の枝垂れ桜が元気になれば、見物客も多くなると思われる。吉川三大枝垂れ桜は長寿命な種類であり、治療することで何百年と生き続け、風格が増すとされる。 (実施内容) (1)樹木医による治療(吉川三大枝垂れ桜報恩寺分) 治療は専門性が高く樹木医が行うが、保全活動は団体が行う。 (2)樹木医による治療報告(会員、希望者) 治療報告を聞くことで、桜の知識を身につけ保全活動に役立てる。 (3)三大枝垂れ桜の周囲の環境整備(会員、希望者) 草刈り(6月、8月、10月)肥料やり(5月、11月)ひこばえの排除、胴吹き芽の排除(草刈り時) (4)他の団体(桜プロジェクトJ)の講習会に参加し、桜の知識を身につける。	(1人)		・吉川三大枝垂れ桜の尾神枝垂れ桜、村松家枝垂れ桜、報恩寺枝垂れ桜の三本の枝垂れ桜で価値があると思う。 ・今年度は、期間は長期(4月7日～21日まで)に連日、多くの来客数があえい、200人が見学に訪れたという吉川の観光地として定着し、地域の財産である。 ・枝垂れ桜見学会に大勢の見物客が訪れるよう宣伝することが一番重要と考える。 ・自主財源が他の提案事業より少ないが、他に求めるところはないか。 ・治療費が金額のみであり明細が不明。詳細を教えてください。①何処が、どういう状態だから②それに対して、何を、どれだけ、どの様に使って③かかる材料と、量、時間、期間④その結果の確認方法と、事後処置⑤経過観察の方法とその費用は。 ・費用対効果が見えない。(997千円) ・他の事例を教えてください。 ◎今回は提案事業数が多く、また補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っている。全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回っても事業を行うか。
	7	4月17日	上越文化会館と連携した文化活動と地域活性化事業(林家正蔵落語会)	夢をかなえる会	-	344	162	①文化会館と連携することにより、吉川区だけではなかなか実現できないレベルの高い文化活動を開催することができる。 ②有名な落語家を吉川区にお呼びすることで、居ながらにして有名な方の芸に接することができる。 ・事業の内容/林家正蔵他若手落語家による落語会 ・事業の対象者/夢をかなえる会会員、吉川区内の市民 ・実施方法/11/17、午後7時より吉川コミュニティープラザ多目的ホールで開催。事前にチラシを作成し、新聞折込にて全区に周知し、チケット販売を行う。			・吉川区の人口減少、過疎化高齢化する地域に林家正蔵他若手落語家による落語会に期待する。 ・落語家林家正蔵に決定した経緯が知りたい。 ・落語家を招く…、本当に子供たちの健全育成を期す内容となるのか。(疑問を感じる。子供は殆ど来ないのでは) ・単に一芸人を招いてのイベント。気持ちは分かるが中身が薄く感じられるが、更なるアピールポイントはあるか。 ・提案事業の補助希望額が事業費の半分程度となっている。提案団体の負担が重いと思うが、なぜ事業費の半分なのか。 ・プロだけではなく、アマチュアでも、色々な夢をかなえたい人達を招いたイベントを企画して頂ければと思う。 ・継続事業での申請団体や毎回申請している団体では、補助金のみでの事業実現でなく、自己資金を用意する努力はされているのか。また、毎年申請ではなく、隔年とするなどの努力はできないのか。 ◎今回は提案事業数が多く、また補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っている。全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回っても事業を行うか。
	8	4月17日	吉川町アマチュア無線クラブ レピター機器更新事業	吉川町アマチュア無線クラブ	-	615	580	・アマチュア無線を通じて情報の多様性を図る。 ・災害時、緊急時の連絡手段の補完機能として、アマチュア無線を活用し、情報の補完をする。 ・アマチュア無線愛用者の増大を図る。 ・レピター機能の拡充と広域通信の拡大 ①上越地域のほぼ全域の通信をカバーしている尾神岳レピターが老朽化しているため、更新するとともに、災害時、緊急時の連絡機能の補完機能として活用する。 ②地域の無線愛好家の交流により無線愛好者の拡大を図るとともに、災害時、緊急時を想定した通信訓練などを実施する。	(3人)		・言葉は悪いが、愛好家の趣味の世界では。 ◎保有者(利用者)は何人位いるのか。吉川区内の会員数はどの位か、また、上越市の会員数はどの位か。 ・過去に緊急時の通信訓練を実施したことはあるか。あるとすれば何回くらいか。 ・停電時の電源確保は何か。バッテリーか発電機か。バッテリーは何時間対応か。 ・災害時や緊急時の保有者間での情報伝達手段として利点はあるが、利用者人数や一般住民への伝達方法を考えると期待効果は薄いのでは。 ・審査項目に照らし合わせると、③以外の①、②、④、⑤は視点への合致が少ないが。 ◎電波塔の保守、管理、運営者は誰か。その費用は、誰が負担しているか。 ・電波塔の所有者は誰か。提案事業による機器の所有者は誰か。 ・設置者は誰か。 ・尾神岳の設備の年間管理運営費は、どの位か。 ・発電機を運用する手順は、どのようになっているか。誰が起動するのか。 ・クラブの会合は、年にどの程度行われているか。 ・非常時の対応について、市とどのような対応、取り決めがあるか。(緊急時災害時の補完機能として認定されているか→メンバー登録、運用等) ◎今回は提案事業数が多く、また補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っている。全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回っても事業を行うか。

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地調査実施の有無	追加資料の有無	質問事項
						事業費	補助希望額				
	9	4月19日	スカイスポーツ振興特別事業	尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会	-	751	700	尾神岳エリアで年4回開催されているパラグライダー大会の内、上越市長杯と新潟県知事杯において、CM放送やインターネット配信等を通じて特に若者層へのPRに力点を置き、先々のスカイスポーツ振興につなげるとともに賑わいを創出するため次のことを実施する。 ・オープニングセレモニーの実施 大会開会式(山頂パノラマハウス前)の時に、「鼓舞衆」、「百華踊乱よしかわ」、「吉川おどり隊」の皆さんから協力いただき、歓迎セレモニーを実施する。 ・大会の実況解説等の実施 プロの司会や解説者により、選手の紹介、大会内容、進行等を会場から実況放送し、大会を盛り上げながらPR度を高めていく。(特に選手間では好評となっている。) ・記録映像の撮影・収録 大会に係る映像を収録し、当日行われる交流懇親会時に上映したり、今後、特に若者をターゲットにしたパラグライダー事業等のPRにも利用できるような動画を制作する。 ・スカイスポーツの振興につながるPR等 インターネット配信(Youtube)等を通じ、日常的にスカイスポーツのPRを可能としていく。			・吉川区に、より一流の選手が集まるスカイスポーツ基地の定着に期待する。全国から尾神岳を訪れて交流人口の増大や地域活性化に大いに期待するものである。 ・提案事業が、天候不順等により実施できなかった場合、どの様な対応を考えているか。 ・継続事業での申請団体や毎回申請している団体では、補助金のみでの事業実現でなく、自己資金を用意する努力はされているのか。また、毎年申請ではなく、隔年とするなどの努力はできないのか。 ◎今回は提案事業数が多く、また補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っている。全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回っても事業を行うか。
	10	4月19日	長峰城址保存活用事業	越後長峰城址保存会	-	812	772	1 長峰城址景観整備 長峰城址本丸遺構(土塁・空堀等)の特徴的な部分1か所の樹木伐採 ・伐採規模 南西やぐら台跡～空堀底面 2 長岡城・大胡城関係団体との交流事業 ・長岡開府400年記念事業への参加 ・牧野氏まつり、前橋四公祭への参加 3 長峰城址見学会 ・上越近隣の研究者を講師に招き、長峰城の歴史と特徴について理解を深める。 4 じっくり安全見学コースづくり、長峰城の美化・魅力向上事業 ・長峰城登り口の安全ロープの張替え、休憩ベンチ2台の設置 ・雪割草の植栽継続			・長峰城址の整備事業も平成25年、26年、28年、29年と今年30年で5年目となる継続事業である。5年かかってやっと長峰城址本丸遺構の特色部分の樹木伐採を行い、「見せる化」により城の成り立ちが具体的に理解できるようになった。この間の保存会の苦勞には感謝申し上げたい。また、多くの県内外からの見学者を通じて、長峰城の歴史や役割に理解を深めることができた。 ・保存会では自主事業として草刈等、維持管理を継続して長峰城の保存に努めるとともに広く見学会で誘致し、魅力向上、じっくり安全に見学できるコースの整備に努めることが必要と考える。雪割草の植栽や季節に応じた草花の植栽で魅力ある長峰城址を望むものである。 ・今後の整備年次計画の提示をお願いしたい。 ・上越市の文化、歴史遺産として登録申請を考えているか。 ・吉川区としてではなく、市としての事業に提案を勧めてはどうかか。 ・継続事業での申請団体や毎回申請している団体では、補助金のみでの事業実現でなく、自己資金を用意する努力はされているのか。また、毎年申請ではなく、隔年とするなどの努力はできないのか。 ◎今回は提案事業数が多く、また補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っている。全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回っても事業を行うか。
	11	4月19日	長峰町内会花いっぱい運動事業	長峰町内会	-	47	47	1 マリーゴールドの種子まき、育苗管理 4月下旬にボランティアが中心となり種子まき 育苗は分担する 2 植え付け場所づくりとマリーゴールド苗の植え付け 5月中旬に市道脇の植樹枠内の場所づくりを行い、6月には苗を植え付ける。なお、公民館にはプランターに植え付けるものとする。植え付けは子ども会・老人会等にも呼びかけて、全体作業として行う。 3 植え付け後の除草、水やり等の管理 ボランティア中心の作業。除草は全体作業を1回予定する。 4 ピオラの種子まき、育苗、植え付け 9月初旬にピオラ種子まき、育苗を行い、マリーゴールド跡地に11月～12月に植え付ける。			・長峰町内から発信し、区内全域への広がりを期待したい。 ・単年花か。 ・樹木の植林はお考えか。 ・町内会として実施してはどうかか。 ◎今回は提案事業数が多く、また補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っている。全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回っても事業を行うか。
	12	4月20日	ゲートボール競技会等運営事業	吉川ゲートボール協会	-	721	262	①ゲートボール協議会の運営及び進行がスムーズに実行できる。 ②小学校のクラブ活動における指導をやりやすくする。 ③ビギナースクール時の指導に活用する。 ④ゲートボール大会を実施することにより、市内及び県内より訪れる参加者による宿泊や地域物産の消費に貢献できる。 以上の目的達成のため、放送機器の整備を行う。			・人口減少、高齢化するなか、ゲートボールの活動を推進することで、高齢者の健康増進が図られ、ひいては医療費の節約になると思われ、ゲートボール大会の推進を歓迎する。 ・放送機器の電源は4電源仕様となっているが、GBは屋外活動が多く、通常電源の確保が困難と思う。蓄電源の能力はどのくらいか。連日の使用に耐えられるのか。 ・GBは世代を超えて楽しめるスポーツと思う。過日の吉川区活動フォーラムで、今とこれからについて協会会長から発表があった。会員や世代間交流の発展を願う。 ・機器をゲートボール協会に保持しなければならない理由は何か。 ・レンタルではできないのか。 ・各大会実行施設には音響機器が整備されているかと思うので、それを活用することはできないか。(ゆつたりの郷、遊ランド他) ◎今回は提案事業数が多く、また補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っている。全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回っても事業を行うか。

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地調査実施の有無	追加資料の有無	質問事項
						事業費	補助希望額				
	13	4月20日	原之町町内会伝承・伝統事業継承の活動と推進(継続事業)	原之町町内会	-	853	852	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化的資産の保存と地域住民に過去の生活、文化、風景、町並みなど次世代に伝承するために整備(デジタル化)し吉川区内の住民で歴史の共有化をするため。 ・原之町八嶋布団店(明治、大正期には写真店)が中越沖地震で崩壊した土蔵を取り壊した際に、撮影された乾板ガラスが500枚以上見つかかり、貴重な資料であるため、原之町町内会の宝として保存するための事業に取り組むもの。 ①乾板ガラスの画像をデジタル化し、いつでも再生できるようにして、吉川区内町内会のコミュニティ活動に資するため、必要に応じて展示の貸出しも行って活用を図る。 ②町内会の子ども会、小中学校の生徒にふるさとの原風景を鑑賞して、歴史の偉大さを知る一助とする。 ③区内、町内の老人会の皆さんには古き良き時代を思い出す機会になる。 ④区内で開催される各イベント、学校の教育資料、福祉まつり、生涯学習フェスティバル、文化祭などに活用する。 ⑤地域の中に眠っており、やがて捨てられてしまうであろう映像や記録を収集し保存、再生し管理を行う。 			<ul style="list-style-type: none"> ・原之町公民館に掲示されている画像写真を見学した。過去の生活、文化、風景、町並みなどの懐かしい写真に感動した。地域の中に眠り、やがて捨てられる映像や記録の収集の重要性を実感した。 ・昨年度の実績をかいつまんでお聞きしたい。 ・自主財源が他の提案事業より少ないが、他に手立てはないか。 ・デジタル化(CD)を行い、頒布を検討していただきたい。 ・冊子化、常設展示化を検討して頂きたい。 ・継続事業での申請団体や毎回申請している団体では、補助金のみでの事業実現でなく、自己資金を用意する努力はされているのか。また、毎年申請ではなく、隔年とするなどの努力はできないのか。 ◎今回は提案事業数が多く、また補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っている。全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回っても事業を行うか。
	14	4月20日	川谷地区交流施設「静山荘」を移住促進拠点にリニューアルする事業	川谷もよりの将来をみんなで考える会	-	925	750	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化により利用が落ち込んでいた交流施設「静山荘」をリフォームし、新たな発想で地域の魅力を体験してもらうイベントを企画し、当地域への移住者を積極的に呼び込む拠点として活用する。 地域の最重要課題である「集落機能及び農地の維持」を担う新たな住民を呼び込むことは地域活性化に直結する。また、地域住民でイベントを手作りすることで、自ら地域の魅力を再認識・創出する機会とする。 ○交流施設「静山荘」のリフォーム <ul style="list-style-type: none"> ①トイレの改修 ②浴室シャワーの設置 ③台所の改修 ④布団の整備 ○イベントの企画・運営 <ul style="list-style-type: none"> 交流を目的とするイベントに終わらせず、楽しいことも大変なこともひっくるめ、「川谷で暮らすこと」、「川谷で農業をすること」、「川谷で仕事をつくること」の3テーマを一緒に感じ、考えてもらいイベントとする。 ①フナの森の湧水&天空の棚田で米作り ②川谷流・冬のサバイバル術を楽しむ 	(6人)		<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化、限界集落などの課題がある。本提案事業は、老朽化により利用が落ち込んでいる交流施設「静山荘」をリフォームし、新しい発想で地域の魅力体験をし、イベントを企画し、移住者を呼び込む拠点として活用するというもので、大いに歓迎する。 ・本件事業は、焦らず、一年だけの事業とせず、継続事業として「静山荘管理組合」と連携し、「地域おこし協力隊」、「川谷もより会」、「上越やまざと暮らし応援団」の協力で、各種団体と住民主体により行い、静山荘を活用し、移住者を呼び込む活動に期待する。 ・施設管理者(所有者)はどこか。 ・公民館的施設であれば協議、相談は地縁団体ではないのか。 ・宿泊できる施設か。 ・静山荘利用回数は年5回とあるが、費用対効果は得られるのか。 ・設備強化による管理経費増が予想されるが、維持管理は可能か。 ◎今回は提案事業数が多く、また補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っている。全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回っても事業を行うか。
		配分額 (単位:千円)	5,700	差引	△ 3,849	10,993	9,549				

◎は複数の委員から同じ趣旨の質問が出された内容

平成30年度 地域活動支援事業に係る今後の審査等のスケジュール（案）

月日	時間	審査協議事項等
3月5日(月) ～ 3月30日(金) ※平日のみ	8:30 ～ 17:00	事前相談 ・地域活動支援事業の申請に伴う書類の記入方法や、添付書類等についての事前相談
4月2日(月)	8:30	提案受付開始（～4月20日まで） ※平日のみ
4月20日(金)	17:00	提案受付終了 【事務局】 ・吉川区地域協議会へ審査依頼、提案書等を委員へ配布 ・委員への質問提出依頼(4/25 正午締切)
4月23日(月)		【事務局】 ・提案内容について、担当課（関係課）への所見依頼 回答期限 5/10
4月26日(木) ※第4木曜日	18:30	○平成30年度 第1回吉川区地域協議会（公開） ・地域活動支援事業について ・提案事業の確認及び質問、確認事項に関する協議 ・プレゼン、勉強会の日程について確認 ・現地視察実施事業について協議 【事務局】決定後、事業提案者に対して ・質問事項への回答依頼(4/27 発送、回答締切 5/8、5/9に委員あてに回答一覧を発送予定) ・プレゼンテーションの実施通知 ・現地視察の実施通知
5月12日(土)	13:00	○平成30年度 第2回吉川区地域協議会（公開） ・プレゼンテーションの実施 ・質問事項に関する確認 ○勉強会（非公開） ・現地調査（午前中の可能性あり） ・仮審査
5月17日(木) ※第3木曜日	18:30	○平成30年度 第3回吉川区地域協議会（公開） ・本審査、採択有無・補助額の決定

平成30年4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

平成30年5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

平成30年度吉川区地域活動支援事業 現地視察（案）

- 実施日 平成30年5月12日（土）午前9時～11時55分（見込）
※雨天決行（長靴、合羽等をご用意ください。）

○ 視察先

- ①川谷地区交流施設「静山荘」を移住促進拠点にリニューアルする事業
(No.14 川谷もよりの将来をみんなで考える会)
②吉川町アマチュア無線クラブ レピター機器更新事業
(No.8 吉川町アマチュア無線クラブ)
③歴史と文化のまちづくり事業 (No.2 歴史と文化のまちづくり研究会)

○ 日程

時 間	視 察 先	視 察 内 容
9:00	吉川区総合事務所 集合・出発（マイクロバス）	
9:40 ～ 10:00	川谷簡易郵便局前 （マイクロバス降車）	川谷地区交流施設「静山荘」を移住促進拠点にリニューアルする事業 説明：川谷もよりの将来をみんなで考える会
10:30 ～ 10:45	尾神岳レピター付近	吉川町アマチュア無線クラブ レピター機器更新事業 説明：吉川町アマチュア無線クラブ
11:10 ～ 11:40	入河沢・光善寺前 （マイクロバス降車場） ※徒歩15分 ※マイクロはセンターに駐車	歴史と文化のまちづくり事業 説明：歴史と文化のまちづくり研究会
11:55	吉川区総合事務所 到着	
13:00～	第2回吉川区地域協議会（プレゼン）	

○ 参加申込等

- ・基本的に全員参加とし、参加申込は不要とします。
- ・不参加の場合のみ、前日までに、事務局まで連絡願います。
- ・都合で直接現地入りする場合も、事務局まで連絡願います。
- ・多少汚れても大丈夫な服装等でご参加ください。

(追加資料)

H30年度申請団体における類似事業での採択状況等

事業番号	事業の名称	団体等の名称	類似事業の実施回数 (実施年度)	備考
1	竹直地区公共交通待合所を起点とする集落活性化事業	竹直町内会	—	別の集会施設修繕で2回採択
2	歴史と文化のまちづくり事業	歴史と文化のまちづくり研究会	1回 (H29)	
3	吉川中学校吹奏楽部 地域とのふれあい事業	吉川中学校後援会 ※当時の申請者は保護者会	2回 (H23、24)	H23楽器購入 H24コンサート実施
4	まちづくり情報の発信推進事業(プリント作業効率の向上と区民及び地域団体等への利用促進を図る)	まちづくり吉川	—	
5	尾神岳サマーフェスティバル実施事業	吉川観光協会	2回 (H26、27)	
6	吉川三大枝垂れ桜を維持管理事業	吉川三大枝垂れ桜を守る会	2回 (H27、28)	
7	上越文化会館と連携した文化活動と地域活性化事業(林家正蔵落語会)	夢をかなえる会	6回 (H24、25、26、27、28、29)	毎回、自主財源を用意
8	吉川町アマチュア無線クラブ レピター機器更新事業	吉川町アマチュア無線クラブ	—	
9	スカイスports振興特別事業	尾神岳スカイスportsエリア運営委員会	2回 (28、29)	
10	長峰城址保存活用事業	越後長峰城址保存会	4回 (H25、26、28、29)	
11	長峰町内会花いっぱい運動事業	長峰町内会	—	
12	ゲートボール競技会等運営事業	吉川ゲートボール協会	—	
13	原之町町内会伝承・伝統事業継承の活動と推進(継続事業)	原之町町内会	1回 (H29)	
14	川谷地区交流施設「静山荘」を移住促進拠点にリニューアルする事業	川谷もよりの将来をみんなで考える会	1回 (H23)	

平成30年3月15日開催 吉川区「出張」地域協議会 発言要旨 吉川地区公民館勝穂分館

No.	団体名	発言者	発言記録(要旨)	項目・分類	担当部会案	部会対応方針案	地域協議会最終方針
1	勝穂地域づくり会議	山田会長 (伯母ヶ沢)	高齢化が進み人口増は難しい状況である。体育祭で、勝穂地区で30人の選手の参加要請がある。毎年30人を集めるのは困難であり、考えていただきたい。	体育祭	暮らし・ 支え合い部会		
2	伯母ヶ沢町内会	阿部勝夫 町内会長	屋外の防災無線について、赤沢と泉に設置されているが、伯母ヶ沢では全然聞こえない。後生寺のバス停あたりに1箇所設置してもらえないか。	防災行政無線 (屋外)	安全・安心部会		
3	伯母ヶ沢町内会	阿部勝夫 町内会長	2級河川の件で、平成29年7月3日の水害で、河川災害があった。伯母ヶ沢では全部2級河川と聞いていたが、業者からは、公民館の下の橋のところまでしかきていない、ということだった。その境界はどの辺か調べて教えてほしい。	河川管理	安全・安心部会		
4	伯母ヶ沢町内会	田中敏雄さん	除雪の仕方の件について、除雪車の運転手が変わって、除雪の仕方が変わった。伯母ヶ沢集落が一番おいどまりなので、〇〇を経由して伯母ヶ沢へ行くのは、出勤、登校にやっとの状況である。会社に遅刻、欠勤した人もいる。今回、深夜0時30分頃、緊急車両が〇〇を越えた。たまたまその時は雪が無く、除雪がしてあったので通れたが、もう1つ、一番奥の車庫が無くなったので、排土板を上げて走行して、回転場まで行って、除雪していなかった。排雪作業にこないのが3回あった。奥に来れば来るほど便利にしてもらわないと、こんなところに住めない、お嫁に行ってしまう。ますます人口が少なくなる。減村の原因になる。	道路除雪	安全・安心部会		
5	赤沢町内会	荒井さん	平成29年7月の大雨で、大出口川が排水河川となる。その下流へ行くと柿崎川と合流する。柿崎川がいっぱいになると、支線の方は排水が遅くなる。赤沢集落では3軒ほど床下浸水があった。消防団員もかなり勤めに出ている。地元にはない。消防自動車のポンプを使って排水を試みたが、時間がかかって、うまく処理できなかった。夜中であれば、車の移動から、全部支障が出る。河川には逆止弁が付いていて、逆に漏れないようになっている。今は、山からの排水は、大出口川が増水すると、排水口がその下なので、水が出ない状態が長く続く。そういう状態から、出来れば、常時排水ポンプを2か所設置してもらいたい。	河川管理	安全・安心部会		
6	赤沢町内会	荒井さん	大出口川について雑木が多い。これが2級河川なのかと、首を傾げるような状態である。私どもが切っているのか悪いのか、その辺もあるが、ある程度2級河川であれば、県の予算で処理してほしい。	河川管理	安全・安心部会		
7	泉町内会	中嶋町内会長	河川の件だが、昨年大雨で、泉集落の上流の方で、かなり堆積が多くなった。流れが急なので、川の構造が段2段くらいになっている。昨年、その段が全部塞がった。効果がない。昨年は総合事務所に話しをし、現場を見てもらった。用水を引き込むところが4か所ある。その取り出し口付近に堆積し、用水量の確保が難しい。雑木の除去、堆積物の除去を毎年お願いしている。3~4年前に1回やってもらったが、その後やってもらっていない。できれば、「堰(せぎ)」の用水取り出し口の近辺だけでも処理してほしい。地域も高齢化している。	河川管理	安全・安心部会		
8	泉町内会	中嶋町内会長	県道について、期成同盟会等、泉地区で毎年要望していることを取り上げてほしい。	道路管理	安全・安心部会		
9	赤沢町内会	水瀬さん	河川の土砂、ゴミ対策について、改善をお願いしたが、ピックスワンを建てているので予算がないと言われた。それから20年近く経っている。そこの河川もたいへんでしょうが、お願いしたい。	河川管理	安全・安心部会		

No.	団体名	発言者	発言記録(要旨)	項目・分類	担当部会案	部会対応方針案	地域協議会最終方針
10	後生寺町内会	阿部 正 町内会長	後生寺集落は、1人世帯が6軒、合わせて9軒のうち、実質1人世帯が3軒、これでも集落として、いろんな役員が回ってきて、たった3人しかやる人がいない。重複している。さっきの体育祭の話にしても、名簿を出せと言われても、犬や猫の名簿まで出さなければならぬくらい人数が少ない。町内会長もいらん、何もいらん集落になっている。大きな集落と皆同じように人数割りが来ている。集落行事が出来ない人数だ。私たちも勤めている。1人何役もやっている。市からの配布物の対応くらいはできるが、いろんな役がいっぱいきて、小学校の何かとか、コミプラとか、それをたった3人で重複してやっている。はっきり言って勤弁してほしい。今後3人くらいしか残らないと思う。役員を回さないでほしい。	集落機能維持	暮らし・ 支え合い部会		
					次世代担い手部会		
11	勝穂地域づくり会議	山田会長 (伯母ヶ沢)	人口は減る一方なので、過疎化が進む中、何かを変えていかないと、仕組み全体を変えていかないと、続いていかないとと思う。	集落機能維持	暮らし・ 支え合い部会		
					次世代担い手部会		
12	吉川区地域協議会	大滝委員	河川の雑木と土砂の関係について、1月の泉谷地区での「出張」地域協議会でも話が上がっている。泉谷地区も平等寺川を抱えており、かなりの土砂、雑木がある。私も、泉谷地域づくりの副会長をやっているのでも、陳情には2年ほど出させてもらっている。7~8年も前から、この問題を1点に絞って陳情に上げてある。なかなか、対応が進んでいない。実現するかわからないが、振興局の河川課長と話したら、早く進めるわけではないが、土砂や雑木を運ぶ手間を緩和すれば、もうちょっと事業が早く進めるかもしれないと言っていた。地元で、土砂や雑木を、業者や県が切って、それらを捨てる場所、置く場所、処理する場所を提供してくれれば、運ぶ手間もかからず、費用も少なくなる。その辺を地元で考えてくれれば、少しでも前に進むと話していた。私も、泉谷地区の町内会長さんには伝えたが、提供する場所がない。残土も、少しずつだが、かなりの量になる。どうするか。もし地域で考えて、場所があれば前に進む可能性がある。	河川管理	安全・安心部会		
13	伯母ヶ沢町内会	阿部勝夫 町内会長	イノシシの被害が多いが、市の補助はどれくらいか。電気柵について。	イノシシ対策	安全・安心部会		
14	後生寺町内会	阿部 正 町内会長	空き家の件だが、市に報告しているが、だいぶみすぼらしい。盆や連休に帰ってくる家はそれなりになっている。後生寺では1軒報告している。名前も知らない。どこに売ったかもわからない。市で税金をいただいているのでわかるのではないかと。内らではわからない。あまりにみすぼらしい。草刈りしたりしている人は、それなりになっているが、今年の冬、屋根が落ちている。危険である。ほぼ県道沿いである。	空き家対策	次世代担い手部会		
15	伯母ヶ沢町内会	田中敏雄さん	ヨウ素剤は、吉川区に準備してあるか。何人分あるのか。使用の優先順位は。	原発事故対策	安全・安心部会		

No.	団体名	発言者	発言記録(要旨)	項目・分類	担当部会案	部会対応方針案	地域協議会最終方針
16	後生寺町内会	中島さん	仕事柄、農政の関係と、趣味で体育施設の利用をしている。両方に関係するが、吉川区総合事務所に行っても、どちらも、質問等しても、その場で即答できない。農政の場合は、柿崎区総合事務所に集約されている部分もあるが、教育文化グループでも、体育施設の利用申し込み等で質問しても、本庁に聞かないとわからない。直接聞いてくれと、吉川区総合事務所では解決できないことがほとんどである。吉川区総合事務所の中で裁量を持ってできるようにするか、職員がきちんとした形で、本庁に聞いてくれるのではなく、対応できるような形をとってもらいたい。農政では、一昨年くらいまでは、書類の提出は各総合事務所窓口と書いてあったが、ここ数年は、柿崎区総合事務所と書いてある。吉川区総合事務所があるのに、なんでそっちに行かなければならないのか。体育施設の利用についても、年間利用、年間予約をする際、今年から来年の予約をする際、時間割、具体的には7時から9時まで使いたいが、今の年間予約では6時から8時とか、中途半端な形で予約しなければならない。皆さんが言われている。地域に合わせたやり方でやってもらえないか。本庁の方の施設は利用率も多くて、希望通りにならない日もあるかもしれない。吉川区の体育館などでは、そこまではないと思っている。地域で使い勝手がいいようにしてもらいたい。今年変わったので、これから改善されると思う。取ってしまうと、2時間でいいところを4時間取ってしまう。他の人が使えない状況があると思う。	市の窓口 体育施設の予約	暮らし・ 支え合い部会		
17	泉町内会	中嶋町内会長	合併前は、町会議員さんが中心となって動いていた。今も、合併前と同じような、各期成同盟会等でまとめて、現地を回って現状把握をしているのか。	道路整備 河川整備	安全・安心部会		
18	泉町内会	中嶋町内会長	期成同盟会について、昔は残したほうがいいと思ったが、ある時期に、なかなか要望をしても聞いてもらえない。意味がないということで、解散した。残した方が後々いいと思ったが、そういうのが必要となれば、作ったほうがいいのか。一町内会長では弱い。	道路整備 河川整備	安全・安心部会		
19	後生寺町内会	阿部 正 町内会長	防災行政無線は、業者が設置していただけで、雪でアンテナが折れて聞こえなくなっているのではないかと。点検してもらわないとだめだ。	防災行政無線 (戸別端末)	安全・安心部会		
20	勝穂地域づくり会議	山田会長 (伯母ヶ沢)	災害時の避難所について、歩いて行けない人が多くなると、誰かが連れていかなければならない。人数的に困難なところがある。避難所までの移動方法を、集落ごとのものではなく、他の移動手段を検討してほしい。	避難所	安全・安心部会		
21	赤沢町内会	水瀬さん	保育園のマイクロバスをたまに運転している。勝穂線は全然通らない。この先どうなるのか心配である。子ども神輿もできない状態。嫁さん、婿さんをもらう方も何人かいるが、なかなか結婚できない状況である。	少子化対策 後継者対策	次世代担い手部会		
22	勝穂地域づくり会議	山田会長 (伯母ヶ沢)	(No.21の意見について) 近くに雇用がないのが大きな原因の1つだと思われる。	雇用、職場 対策	次世代担い手部会		
23	赤沢町内会	水瀬さん	吉川区総合事務所に、地元の職員が何人もいない。災害が発生した場合、すぐ対応できるのか。地元の職員を置いてほしい。	吉川区総合事務所 の職員配置	次世代担い手部会		

平成29年度 吉川区地域活動支援事業実績一覧

No	事業名	実施団体	事業費 (円)	補助金額 (円)	事業概要	事業評価・今後の見通し
1	吉川タイムズ創刊5周年 記念読者交流会事業	吉川タイムズ	162,504	126,000	地域の発展にとって、情報発信、PR活動は必須事項だが、人材、ノウハウを持たず、苦勞している現実があるとともに、昨年、ソーシャルメディア（ブログ、フェイスブック、ツイッター）の重要性が高まっているため、ソーシャルメディアに関心を持ってもらうとともに、役割や効果を検証するため、専門家を招いて読者交流会を開催した。また、吉川タイムズの設立の意味を知ってもらった。さらに、地域起しのリーダーを招き、活動と情報発信の実際を学んだ。	吉川タイムズを団体として吉川区住民に知らせることができた。大学教授を招くことができたほか、講演、コンサートと、予定通りの内容で、ソーシャルメディアが地域メディアとして、地域の発展に大きく貢献できることをアピールできた。交流会に参加できなかった吉川区住民に、新聞を発行することで、当日の様子を知らせることができた。ソーシャルメディアとして、1日の訪問者数100名を目指す。まずは年4回の新聞発行を行う。
2	花いっぱい運動事業	吉川区青少年育成会議	845,542	815,000	少子高齢化が進み、地域全体の元気が薄れている中で、花の力で地域を華やかに「美しく・明るく・元気に」するため、中学生の提言及び中学生が主体となった取組により、「花いっぱい運動」を通じて、地域コミュニティの再生・活性化を図り、子供たちの地域への愛着心が深まることを目指した。	事業の実施により、地域住民と児童・生徒との交流及び中学校と地域住民との交流が生まれた。地域イベント会場に、プランター花を飾り、来場者を「花の力」で、おもてなしすることができたと同時に、イベントを盛り上げることもできた。 花の肥培管理方法等の反省を踏まえ、児童・生徒・地域住民が、できる範囲を再検討し、「花いっぱい運動」を拡充する。「花いっぱい運動」を通じて、児童、生徒の環境美化に対する関心・意欲を高めると共に、地域のみなさんと学校との繋がりを深め、花の力で吉川を華やかな地域づくりを進める。
3	上越文化会館と連携した 文化活動による地域活性化事業	夢をかなえる会	292,392	98,000	上越文化会館の自主事業と連携し、吉川区だけではなくなかなか実現できない、レベルの高い演劇公演について観劇ツアーを実施し、バス送迎をすることにより、交通弱者、出不精と言われがちな高齢者の方々に参加しやすい環境を提供することで、地域の活性化に大きく寄与した。	初冬の夜の観劇であり、お年寄りにとって活動しづらい環境であり、一抹の不安があった。実際、例年に比べ少しだけお年寄りの参加が少なかったように思うが、その分若い人たちに参加いただいた。演劇の出演者が若い世代に知られていることが要因かと思われ、まちづくり活動に関心を寄せていただく足掛かりとなったのではないかと思われ、思いもよらぬ収穫となった。 文化会館等と様々な連携の形を模索し、地域の活性化と文化の向上につなげていければと、思いを新たにしている。
4	原之町町内会伝承・伝統 事業継承の活動と推進	原之町町内会	430,140	354,000	地域の皆さんが、改めて自分たちの地域を認識し、過去を感じて、歴史を再認識してもらうとともに、先人の残した功績を周知するため、町内の土蔵から発見された大量の古写真現像ガラスのデジタル化と展示用パネルの作成、展示会等を開催し、地元にもこのような歴史がある誇りが持てる喜びの実現を目指した。	本事業の実施により、自分の住む故郷の歴史を考える機会となったと思う。後世に昔の町並みなどを伝えるため、古写真を整理し、いつでもご覧いただけるようにした結果、昔を懐かしんでいただけたと、多くの方々から評価をいただいた。 まだ数多くの貴重な資料が埋もれていることから、次年度も事業を継続するため、専門家などとも協議し、原之町町内会で検討していきたい。
5	吉川民謡の定着化推進事業	吉川おどり隊	578,388	560,000	平成25年に、吉川観光協会でご当地民謡を新たに確立したことを機に、「吉川おどり隊」を結成し、毎年区内の行事やイベント等で踊りを披露している。この盛り上がりや消すことなく、引き続き吉川民謡としての唄や踊りの定着を図るため、会員の拡大、踊りきもの購入、区内イベント等の他、東京吉川会への出演など、区外等のイベント等への出演に努め、その普及と伝承活動を更に推進した。	今年も多くイベント参加依頼があり、保育園児からお年寄りまで、踊りの輪に入ってくれたり、唄をロザさんだりするのが見受けられ、吉川民謡が少しずつ定着してきていると思っている。 少しずつ定着してきた吉川民謡を、未永く吉川文化として根付かせ伝承していくためには、今後も様々な機会を通じて活動を続けていく必要がある。今後は、ボランティアや趣味だけではなく長く続けることができないという課題もあることから、財政的な措置も考慮し、吉川民謡保存会等の検討をしなければならぬと考えている。

平成29年度 吉川区地域活動支援事業実績一覧

No	事業名	実施団体	事業費 (円)	補助金額 (円)	事業概要	事業評価・今後の見通し
6	上越市長杯・新潟県知事杯パラグライダー大会賑わい創出事業	尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会	1,037,770	970,000	尾神岳周辺で年4回開催されているパラグライダー大会のうち、上越市長杯と新潟県知事杯のパラグライダー大会を盛り上げるとともに、にぎわいを創出するため、オープニングセレモニー、大会の実況解説等の実施、記録映像の撮影、お楽しみ広場の開設、PR等を実施した。	昨年に引き続き本事業に取り組み、本年度は県知事杯パラグライダー大会に加え上越市長杯にも対象事業を拡大した。この取り組みにより、当地で開催される大会を改めて認知していただいたものと確信している。チラシ折込等により広く大会をPRできた。特に全国から集まった選手からは、実況解説やイベント等について、大会に活気が出たと大変喜ばれた。実行委員会でも本事業の活用が評価され、今後選手の増加等が見込まれる等の意見があり、次年度も是非継続との要望があった。特に大会実況中継等は選手にとって大変嬉しいと評価された。
7	長峰城址保存活用事業	越後長峰城址保存会	889,371	842,000	長峰城本丸遺構の特色部分の樹木伐採を行い、施設の「見える化」により城の成り立ち等が具体的に理解できるようにした。また、長峰城普及パネルの作成・展示、啓発資料の作成、見学会の開催、さらに、群馬県大胡城や長岡城関係団体との相互交流を進め、イベント等を通じて魅力度アップを図った。	群馬県の大胡歴史研究会一行9名が長峰城址を訪れ、相互交流が一步進展した。吉川小学校では校内研修として長峰城見学会を実施し、郷土学習の一環として学校教育の中でも取り上げられ始めた。上越市公民館事業や団体による見学会も実施されるなど、長峰城と地域の歴史についての関心が深まっている。今後も、町内会と連携し、刈払い等長峰城址の保存・維持、見学会等の普及活動に努め、群馬県大胡城や長岡城関係者との交流を進め、周辺観光施設とも連携し、長峰城址に人を招き入れる方策を検討する。
8	入河沢城を中心とした歴史と里山文化のまちづくり事業	上吉川歴史と里山文化のまちづくり研究会	716,606	691,000	室町から南北朝時代に築かれたと思われる「入河沢城」は、里山資源の利用のため、昭和40年代まで整備され続け、子供たちの遊び場、環境教育の場となっていた。しかし、今では「入河沢城」は完全に忘れ去られ、同時に里山は荒れ果て、踏み入ることも困難な状態になっていた。そのため、貴重な歴史遺産「入河沢城」を整備・保存するとともに後世に継承するため、歴史の掘り起しと、子供たちに環境教育を実施し、地域再生のモデル化を図った。	入河沢城については地元でも忘れられていた存在であったが、整備することにより10月頃から地元民や近隣住民が入河沢城址の遺構や里山の紅葉を見学に訪れるようになり地域の活性化に結び付いたものと考えられる。戦前頃までに確実に語り継がれていた入河沢地域の伝承を最低限のことを聞き取ることであった。元禄9年に描かれた頸城郡下美守郷42か村余の村絵図の発見は、歴史的資料として貴重なものであり、平成29年度に8村の複製を行い地域住民に公開を始めたところである。今後も、遊歩道整備や、村絵図の公開を継続して取り組むたい。
9	吉川酒づくり伝説歴訪事業	まちづくり吉川	452,010	436,000	吉川区の先人が築き上げた酒文化の歴史を継続するとともに、酒にまつわる「吉川の酒伝説」を区内外に知らしめるために、歴史本の作成及び現地周辺の整備を実施し、併せて吉川酒づくり伝説歴訪ツアーを計画した。	吉川の酒造りの歴史と文化を伝える「吉川杜氏と酒米の郷」の歴史本の増刷及び尾神用水排水口土砂撤去及び支障木伐採工事は計画通り実施できた。「吉川酒づくり伝説歴訪ツアー」(補助対象外)は、日時等参加者の要望がまちまちであり、計画日程通り実施ができずに終わった。尚、参加希望者、東京吉川会会員、越後よしかわ酒まつり参加者に対して資料を送付し、次回ツアー参加を促した。吉川区における、酒造り伝説を広くPRすることが必要であり、今後も引き続き、まちづくり吉川便りやホームページで全国発信をしていきたい。
10	鼓舞衆太鼓購入支援事業	鼓舞衆	836,740	801,000	太鼓演奏団体の鼓舞衆は、参加人数不足のため、公演を断る時がある。太鼓の大きさ、音色等、種類を増やすことで、少数でも従来と同じ演奏が可能となることから、新たに太鼓を導入し、多くの公演に参加、対応できるようにした。	地域の祭、イベントに参加し、住民の人と交流が生まれた。メディア取り上げられ、吉川区内外に当団体の活動意義を紹介することができた。今まで出演依頼のなかった地域から、新たな出演依頼が入り、活動の幅が広がった。今後も、太鼓演奏の場を広げ、大人と子供が共に参加できる団体として、今以上に組織を構築し、内部から地域づくりや人材育成を手掛けるように心がけ、地域の活性化の役にたっていきたいと考える。
計			6,241,463	5,693,000		

平成30年度 吉川区事業別予算概要

(単位：千円)

No.	事業名	予算額		事業概要
		H30年度	H29年度	
1	吉川コミュニティプラザ管理運営費	18,791	16,938	コミュニティプラザの光熱水費、時間外受付等の施設管理全般
2	庁用事務費等関係費	2,342	2,211	庁用自動車の管理費全般
3	文書法務費	1,859	2,199	文書印刷費、通信運搬費やコピー機等事務機器の管理費全般
4	町内会関係費	10,851	4,082	町内会事務委託料、集会場整備等補助金(2町内会)
5	財産管理費	293	708	旧泉谷小学校土地借上料、普通財産一般修繕
6	消防施設管理費	2,027	2,303	防火水槽漏水修繕工事(原之町)、消火栓入替工事(西野島)
7	吉川区地域振興事業	2,416	2,414	越後よしかわ酒まつり及び越後よしかわやっつれ祭り補助金、荒川区及び東京吉川会との交流経費
8	吉川区地域活動支援事業	5,700	5,700	地域の課題解決や活性化のために、市民の皆さんが実施する事業を支援
9	吉川区農村公園管理運営費	319	161	原之町地区、丸滝地区の農村公園管理
10	吉川区農業用施設等維持管理費	7	0	農業用施設の補修等に要する経費
11	土地改良事業(吉川区)	253,534	102,303	農地環境整備事業負担金(坪野、道之下)、ため池等整備事業負担金(柿谷、松本、曲り戸、東立ヶ内、市之瀬)、排水路整備事業補助金(赤川、大吐川)、団体営調査設計事業(赤川)、経営体育成基盤整備事業(原之町)
12	吉川区農業委員会事務局運営費	327	330	農事協力員委託料等
13	中山間地域等活性化対策事業(吉川区)	37,458	37,474	中山間地域等直接支払交付金
14	吉川区既設林道維持管理事業	7,796	2,365	林道4路線の除草業務委託等
15	吉川区観光振興対策事業	993	966	吉川観光協会補助金、荒川まつり参加経費
16	吉川区観光施設等整備事業	1,691	1,564	長峰池公園、尾神岳遊歩道の草刈り等の施設維持管理及び修繕
17	吉川区観光施設等管理事業	22,775	20,641	スカイトピア遊ランド、緑地等利用施設、ゆったりりの郷の管理委託料及び修繕料等
18	道の駅よしかわ杜氏の郷管理運営費	5,676	5,771	道の駅よしかわ杜氏の郷管理委託料及び修繕費等
19	吉川区道路管理総務費	2,622	1,658	地籍管理システム経費、道路台帳附図修正等
20	吉川区道路維持費	38,246	35,851	市道の修繕、除草、維持管理業務委託料等
21	除雪費(吉川区)	111,064	92,583	市道の除雪委託経費等
22	吉川区道路整備事業	0	108,594	実施路線なし
23	吉川区砂防事業費	1,316	1,316	地すべり巡視員報酬(10名)
24	生活排水対策事業(吉川区)	882	882	合併処理浄化槽設置補助金
25	吉川区排水処理施設管理費	99,235	106,893	農業集落排水処理施設の維持管理経費等

No.	事業名	予算額		事業概要
		H30年度	H29年度	
26	排水処理施設機能強化対策事業 (吉川区)	8,703	0	中部地区機能強化対策工事実施設計業務委託
27	地域バス運行事業	5,553	5,487	川谷地区への地域バス運行経費
28	清掃総務管理費	48	48	ごみ減量対策とリサイクル推進経費
29	ごみ集積施設設置費補助事業	6,282	6,352	町内会のごみ集積所の設置及び修繕費用の一部補助 (全市分)
30	生活環境保全美化対策事業	10	10	生活環境における美化経費
31	ごみ処理対策事業	155	155	最終処分場維持管理経費(電気料金、ポンプ設備点検)
32	保健センター管理運営費	1,642	1,580	保健センター管理運営費(燃料費、光熱水費他)
33	地域子育て支援拠点事業	5,244	5,244	子育て広場を吉川保育園に常設
34	吉川区新保育園整備事業	0	2,065	
35	保育所建設費等補助金	5,000	5,000	よしかわ保育園通園バス運行業務支援補助金
36	高齢者交流施設管理運営費	1,633	1,713	福寿荘の管理委託料他
37	吉川区スクールバス等運行事業	5,913	5,937	小学校スクールバス2台の運行経費
38	吉川区教員住宅管理運営費	0	172	教員住宅の管理運営経費
39	小学校通学援助費	1,320	1,475	小学校の通学援助費(28人)
40	中学校通学援助費	8,151	8,458	中学校の通学援助費(77人)
41	小学校市単独事業	3,795	1,251	吉川小学校プール本体底面塗装改修工事
42	小学校給食室改修事業	3,726	0	吉川小学校給食室改修設計業務委託
43	吉川区地域生涯学習センター 管理運営費	3,215	2,572	吉川旭、源地域生涯学習センターの管理運営経費
44	吉川区公民館事業	567	635	各種公民館事業経費
45	吉川区公民館管理運営費	5,690	5,290	公民館地区館1館、7分館の管理運営経費
46	公民館図書室事業	103	98	図書購入関係費
47	吉川区体育施設管理運営費	3,044	3,206	体育施設の管理運営経費
48	一般スポーツ活動推進事業	725	726	スポーツ活動推進経費(パラグライダー・体育祭補助金)
49	学校体育施設開放事業	37	39	学校体育施設開放経費
50	文化財保護費	50	50	文化財保存管理事業補助金
	50 事業	698,826	613,470	

平成30年度 吉川区総合事務所 各グループの主な業務内容

担当	事務事業	担当	内線
	○総合事務所の統括、職員の指揮監督	所長 小林 修一	200
	○所長を補佐し、担当事務の整理をする(総務・地域振興G長兼務)	次長 大場 正弘	210
総務・地域振興グループ	○防災、防犯及び交通安全に関すること ○コミュニティプラザに関すること ○総合事務所の庶務に関すること ○統計事務に関すること ○選挙管理委員会に関すること	【総務班】 班長 諏訪部 太 主任 朝倉 一彦 主任 笹原 正和	212 214
	○地域振興に関すること(地域活動支援事業・集落支援など) ○地域協議会の運営に関すること ○ケーブルテレビに関すること	【地域振興班】 班長 南雲 勇一 班長 保高 陽一	211 213
	○道路、橋梁等に係る相談の受付、書類の受理 ○除雪に係る受付 ○河川に係る受付 ○砂防及び地滑り防止に係る受付 ○農業集落排水及び浄化槽に係る受付 ○公営住宅に係る受付 ○災害復旧に係る受付 ○農林水産業に係る相談の受付、書類の受理 ○商工観光に係る相談の受付、書類の受理 ○農業委員会に関すること	【産業建設業務窓口班】 班長 小林 賢治 副主任 佐野謙一	141 144
教育・文化グループ	所掌事務の整理、所属職員の指揮監督	G長 小池 和彦	110
	○スクールバスの運行に関すること ○生涯学習の推進に関すること ○放課後児童クラブに関すること ○文化財に関すること ○学校施設、生涯学習施設、社会体育施設に関すること ○図書館に関すること ○社会体育振興に関すること(各種スポーツ大会) ○公民館活動の支援に関すること	【教育・文化班】 班長 細谷 淳一 主事 石川 純弥 非常勤職員 小林 久世 公民館主事 石野 昭一	131 132 133 240
市民生活・福祉グループ	所掌事務の整理、所属職員の指揮監督	G長 小池 和彦	110
	○総合窓口及び各種証明請求に関すること(戸籍謄抄本・住民票・印鑑・外国人登録・税関係) ○戸籍、住民基本台帳、印鑑登録、外国人登録及びパスポートに関すること ○各種の税に関すること(市民税・固定資産税・納税) ○国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金に関すること ○環境の保全及び廃棄物に関すること	【税・市民生活班】 班長 高橋 利宏 主任 和田 昭弘 副主任 大滝真岐子 非常勤職員 江村由美子	111 113 115
	○福祉に関すること(生活保護、障害等) ○介護保険に関すること ○保育、子育て支援に関すること ○各種福祉施設及び保健施設の管理運営に関すること ○高齢者福祉に関すること ○健診及び健康相談に関すること ○健康の保持及び増進に関すること ○公衆衛生及び予防医療に関すること ○母子保健及び予防接種に関すること	【福祉班】 班長 布施 和代 主任 忍足 美帆 主任 小川 辰幸 非常勤職員 水澤みどり	112 114 116 120
吉川区総合事務所 TEL 548-2312(ダイヤル) FAX 548-3011			

■柿崎区総合事務所 産業グループ及び建設グループの吉川区連絡調整担当者

グループ名	班名	主任	副主任	連絡先
産業グループ	農政班	主任 白鳥 賢一	主査 佐藤 憲司	536-6711
	産業観光班	主任 近藤 裕希	主任 内藤 康久	536-6707
建設グループ	整備班	副主任 笠原英明	主任 竹内 安男	536-6721
	管理班	主任 福田 英利	主任 渡邊 浩治	536-6719

吉川区総合事務所

平成30年4月1日現在

〒949-3494 上越市吉川区下町1126番地
電話 025-548-2311(代表) FAX 025-548-3011

木田庁舎→吉川区総合事務所 「609」+「内線番号」
吉川区総合事務所→木田庁舎 「9001」+「内線番号」

一階

キャビネット

市民生活・福祉グループ

PC	
PC	PC
130	
PC	PC
111	115
和田 昭弘	班長 高橋 利宏
江村 由美子	非常勤職員 大滝 真岐子
113	
税・市民生活班	

プリンター	PC
PC	PC
120	112
忍足 美帆	班長 布施 和代
水澤 みどり	臨時職員 小川 辰幸
114	116
福祉班	

グループ長 こいけ かずひこ
小池 和彦
110

教育文化グループ

プリンター	プリンター
PC	プリンター
PC	細谷 淳一
131	
小林 久世	非常勤職員 石川 純弥
132	133
教育・文化班	

所長 こばやし しゅういち	次長 おおば まさひろ
小林 修一	大場 正弘
200	210

総務・地域振興グループ

班長 こばやし けんじ	副主任 小林 賢治
141	144
佐野 謙一	主任 菅原 正和
PC	PC
プリンター	PC
産業建設業務窓口班	

地域振興班	南雲 勇一	班長 なんくも ゆういち	班長 すわべ ふとし	班長 諏訪部 太	主任 ささはら まさかず
	211	212	213	214	主任 あさくら かずひこ
	保高 陽一	班長 ほたか よういち	班長 池上 美樹	主任 朝倉 一彦	
		213	214		
		池上 美樹	業務づくり推進員		
		プリンター		PC	

ミーティング
スペース

カウンター

1階	第1会議室	182
	宿直室	180
	市民相談室	183
	女子休憩室	184
	印刷室	185

2階	会議室201	251
	会議室202	253
	第4会議室	254
	男子休憩室	256
	通信室	257

3階	地域活動推進室	300
	会議室うぐいす	310
	会議室301	331
	会議室302	320
	中会議室	332
	大会議室	350
	多目的ホール	330

保健センター	
1階	175
2階	270
まちづくり吉川	170

吉川体育館Tel.548-2177
500 スノーステーション
510 上越市社会福祉協議会吉川支所
520 国保吉川診療所
560 吉川居宅介護支援センター
吉川地域包括支援センター

二階

PC	PC
240	
公民館主事 いしの しょういち	
石野 昭一	